巻頭言

加藤之敏先生のご遺志を継ぎ、更に

辞書を引くと、「紀要」には要点を書き記してまとめて一冊とし、次々に刊行すると言う意味がある。本年度学部として15年、新体制の大学としての完成年度4年という、節目の年度を迎えた。先生方の日々の研究とその成果、図書・紀要委員会のご尽力等により、継続性が担保され第16号の紀要の刊行を迎えることができたことを感謝し、今後ますます発展することを期待するものである。

さて、今回の紀要には意味深いことがもう一つある。それは学部設立、さらにそれ以前より常葉の美術・デザイン教育にご尽力と成果を残された故 加藤之敏先生を偲び、思いをはせる紀要であるということである。

加藤先生は、平成29年7月25日に他界されるまで半年以上に及ぶ闘病生活を送られる中で、ご自身のライフワークであり研究でもあった、グラフィックデザインとデザインによる地域創生と活性化の実践結果をまとめられていた。クリエイターであり研究者である我々は、ふとすると独りよがりの研究等に陥ってしまいがちである。しかし先生は、次の世代の育成や周りの人たちのことを考慮した活動を最後までなされていたのである。今回の報告集は、そのような先生の仕事の一端が垣間見られる内容となっている。

発足して間のない常葉大学造形学部では、紀要が学部情報や学部広報の役割も兼ね備えている。例えば毎巻掲載されている学部教員の特徴である制作等に係る報告集と地域貢献に係るプロジェクト実施報告集に表れているように、論文発表の場として活用していただくばかりでなく、教育や正課外活動の成果報告や結果を公表する場としてますます活用していただきたい。このことも先生のご意思であると思えるのである。

また論文発表に関しては、Google Scholar Citations というある意味おそるべきサイトがあり、過去に発表した論文がどのくらい引用されたかが一目でわかる。私も含め、まだまだ引用・活用されているとは言い難い状況である。ただ、思いがけず2002年に執筆した論文が引用され、その後15年経っても忘れられていないことで、自分の研究生活を振り返るよすがとなっているのである。諸先生にもご自身の研究を公開していただけると、大学および学部の評価を江湖に高める一助となり、これもまた加藤先生のご意志であると考え、お願い申しあげたい。

2017年12月

造形学部長　**合　津　正之助**

常葉大学造形学部

紀　要

第16号　2017年12月発行

目　次　Contents

報　告

第102回記念二科展　デザイン部　5
加藤之敏、チラユ ポンワルット、キム ミンジ、福富敦子

まちづくり（ブランディングプロジェクト）、常葉大学造形学部×松崎町　21
加藤之敏、合津正之助、チラユ ポンワルット

作　品

29　光を造形要素として取り入れた立体作品
夏池　篤

33　日本ブックデザイン賞2017
チラユ ポンワルット

41　2017年 merry-mj 個展・活動記録
キムミンジ

論　文

造形教科（美術・図画工作科）における新たな展開についてのー考察ー次期学習指導要領の視点から美術・図工科を考えるー　49
合津正之助

高等教育におけるプロダクトデザインーモノ・コト・バを見抜くデザインー　59
垂見幸哉

表現におけるコンセプトに重点を置いた造形教育　63
渡辺英司、夏池　篤

都市デザイン史から見た近代化遺産の再生・転用　71
土屋和男

続・木の造形 ―学生たちによる木を素材とした造形表現―　85
夏池　篤、鈴木亘彦

日本画初心者のために行う授業方法についての考察　97
田宮話子

美術教育におけるデッサンに関する実践的研究ー視覚における認識の相違を克服するものの見方についてー　103
山本浩二

美術教育において、版画教育の意味についての考察　111
蜂谷充志、柳本一英

報　告

119　2017 年 短期留学プログラム、バンコク大学×常葉大学
チラユ ポンワルット

133　火の見櫓を活用した風景デザインの設計
伊達　剛

139　歴史的建造物の保存、活用を課題とした環境デザイン教育　松ヶ岡（旧山崎家住宅）における掛川市との地域連携の実践
土屋和男、伊達　剛

149　ポートフォリオを活用したデザイン教育実践の報告
安武伸朗

157　こどものくに ―ふしぎなかたちたち―
山本浩二、長橋秀樹

報　告

加藤之敏・チラユ ポンワルット・キム ミンジ・福富敦子
加藤之敏・合津正之助・チラユ ポンワルット

作　品

夏池　篤

チラユ ポンワルット

キム ミンジ

論　文

合津正之助
垂見幸哉
渡辺英司・夏池　篤
土屋和男
夏池　篤・鈴木亘彦
田宮話子
山本浩二
蜂谷充志・柳本一英

報　告

チラユ ポンワルット
伊達　剛
上屋和男・伊達　剛
安武伸朗
山本浩二・長橋秀樹

Contents

REPORTS

KATO Yukitoshi,PONGVARUT Jirayu,KIM Minjee,FUKUTOMI Atsuko
THE102ND MEMORIAL NIKA ART EXHIBITION DESIGN SECTION 5

KATO Yukitoshi,GOHZU Shounosuke,PONGVARUT Jirayu
Machizukuri (Branding Project), Faculty of Art & Design, Tokoha Univ. × Matsuzaki Town 21

WORKS

NATSUIKE Atsushi
The Use of Light in Contemporary Sculpture 29

PONGVARUT Jirayu
THE JAPAN BOOK DESIGN AWARD 2017 33

KIM Minjee
merry-mj Solo Exhibition and Art Works 2017 41

ARTICLES

GOHZU Shounosuke
A consideration of new art curriculum guidelines in light of developments in the fields of Fine Arts, Drawing and Handicrafts 49

TARUMI Koya
Product design in higher education - Design to see the true nature of objects, things and the environment- 59

WATANABE Eiji, NATSUIKE Atsushi
Art Education and Establishment of Key Concepts in Expression. 63

TSUCHIYA Kazuo
Architectural Renovations and Conversions of Heritages of Modernization through History of Urban Design 71

NATSUIKE Atsushi, SUZUKI Nobuhiko
A Second Series in Sculptures of Wood; Expression in Student Made Wooden Sculptures 85

TAMIYA Wako
A method of Japanese painting education for beginners 97

YAMAMOTO Koji
A Practical Study of Drawing in Art Education: Regarding How to Overcome Differences in Visual Perception 103

HACHIYA Mitsushi, YANAGIMOTO Kazuhide
A study on the meaning of printmaking education in art education 111

REPORTS

PONGVARUT Jirayu
A Short-Term Study Abroad Program 2017,Bangkok University × Tokoha University 119

DATE Tsuyoshi
Landscape Design Incorporating the Traditional Japanese Fire Watchtower 133

TSUCHIYA Kazuo, DATE Tsuyoshi
An Environmental Design Education through a Conservation and Utilization of Historic Architecture A Practice of Cooperation with Kakegawa-city about MATSUGAOKA (Former YAMAZAKI House) 139

YASUTAKE Nobuo
A report on practical design education using portfolios 149

YAMAMOTO Koji, NAGAHASHI Hideki
Children's Land : Mysterious Shapes 157

常葉大学造形学部紀要

第16号

TOKOHA UNIVERSITY
FACULTY OF ART AND DESIGN
RESEARCH REVIEW
VOL.16（2017）

2017（平成 29 ）年 12月 1 日　印刷
2017（平成 29 ）年 12 月 31 日　発行
発行者　常葉大学造形学部

〒420-0911　静岡市葵区瀬名一丁目 22-1
℡ 054-263-1125

印刷所　株式会社篠原印刷所
〒422-8033　静岡市駿河区登呂 6 丁目 7-5
℡ 054-286-5141

常葉大学図書・紀要委員会　静岡キャンパス　瀬名校舎
分会長　鈴木　守／教育学部准教授
委　員　石川美智子／大学院初等教育高度実践研究科教授
委　員　佐瀬　竜一／教育学部准教授
委　員　古市　将樹／教育学部准教授
委　員　相葉　吉輝／外国語学部講師
委　員　江口　佳子／外国語学部講師
委　員　山本　浩二／造形学部准教授
部　署　大川　信子／教育学部教授
部　署　熊谷　紀男／教育学部教授

執筆者（掲載順）

		専門分野
加藤　之敏	造形学部教授	デジタル表現デザイン
夏池　篤	造形学部教授	芸術学〔彫刻、立体造形、現代美術〕
チラユ ポンワルット	造形学部講師	グラフィックデザイン
キムミンジ	造形学部講師	グラフィックデザイン
福富　敦子	造形学部非常勤講師	デジタルデザイン
合津正之助	造形学部長 教授	絵画
垂見　幸哉	造形学部助教	プロダクトデザイン
渡辺　英司	造形学部非常勤講師	現代美術
土屋　和男	造形学部教授	建築学〔歴史・意匠〕
鈴木　亘彦	造形学部非常勤講師	立体造形
田宮　話子	造形学部准教授	美術・絵画領域
山本　浩二	造形学部准教授	芸術学〔美術〕
蜂谷　充志	造形学部教授	芸術学〔現代美術〕
伊達　剛	造形学部非常勤講師	建築設計
安武　伸朗	造形学部教授	デザイン学
長橋　秀樹	造形学部准教授	幼児美術教育